

■主役は俺だ－2024年秋②

□成田滉佑（なりた・こうすけ） 北海学園大3年 QB

7月14日の北海道大とのオープン戦。3-0とリードした第1Q4分、WR八乙女凌太郎（3年、札幌東陵高）へ6ヤードTDパスを決めた。試合の主導権を握る一投は「第1ターゲットのWRのコース取りが良くなかったので、急ぎょ凌太郎に狙いを変えた。冷静に判断できた」と自らも納得のプレーだった。第2Qにも八乙女へ24ヤード弾、そして自らの9ヤードキープTDも決めた。試合は37-0の快勝。ライバルを相手に堂々の指揮ぶりで、「パスの学園」の新司令塔を強烈にアピールした。



177センチ、65キロとスレンダーな体ながら、中学までのバスケットボール経験で培った運動センスが光る。昨季はWRとして先発し、キャッチ力と脚力を生かして21回捕球、353ヤードを獲得し、リーグ最多の8TDキャッチと活躍した。先輩QBの卒業で今季、高木幸樹HCからQBに指名された。「チーム事情を考えると、できるのは僕しかない」と覚悟のコンバートだった。初実戦の釧路公立大、続く帯広畜産大とのオープン戦2試合は「経験不足でゲームを壊してしまった」と反省点が多かったが、春最終戦の北海道大戦で「練習の成果を出せた試合だった」と、秋本番に向けて十分に手ごたえをつかんだ。

自分の持ち味を聞かれて、「プレーのリード、判断力」と胸を張り、「走るのも自信がある」と付け加えた。1年生の時、北海道大と激戦を演じたエースQB河合祐輔とバックアップだった小笠原丈瑠の両先輩が目標。「祐輔さんのパスと判断力、小笠原さんのランがお手本」と言う。3年ぶりの王者奪回を目指す今季、「パスで点を取りたい。パスの学園を盛り上げたい」と決意する。「QBは緊張するポジションだが、点を取った時の気持ちよさは格別。みんなの気持ちを背負ってプレーするのは、なかなか出来ない経験」と自信ものぞかせた。（塚田博）

〈プロフィール〉

2004年1月6日、苫小牧生まれ。父親の転勤で東京暮らしをへて中学生から札幌在住。経済学部地域経済学科3年。兄の陽斗は今季の主将。「兄と先輩に誘われて入部した。兄には負けたくない」と言う。